

受講生募集

まちづくりセミナー



今年度のテーマは、「高めよう! 自分の魅力! まちの魅力!」です。人生豊かに過ごすには、心も身体も健康に過ごすことが大切です。そのためには人と人とのつながりが不可欠であり、心地良いコミュニケーションを育みながら、小さな思いやりの積み重ねで人もまちも成長していくのだと思います。この講座は、まず自分の心と向き合いながら自身を高め、まちづくりの取組みについて小さなヒントを学び、実行に向けて心の種を植え、育てていく講座です。

- と き: 6月1日~29日 毎週土曜日 全5回 10:00~12:00
- と ころ: ウエルとばた 12階 H・I研修室
- 対 象: 30名 テーマに関心のある方 (申込み多数の場合は抽選させていただきます。)
- 参 加 費: 700円(5回分)
- 申込方法: 5/17(金)までにお電話か申込用紙ご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。

受講生募集

生活支援活動の担い手養成講座

高齢化が進む現在、高齢者の世帯などでは、生活する上での手助けを必要としている人が多くなっています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自分のできる範囲で日常生活の手助けをしてくださる方や「地域に役立つ活動をしたい」「ボランティアで地域貢献したい」など地域で活躍する方を応援する講座です。

★生活支援活動のイメージ



★講座内容

1 日 目

- 北九州市の現状について
- 生活支援活動の担い手とはどんなことをするのか?
- ボランティアの心構え
- 現在活発に活動している地域紹介

2 日 目

- 活動に役立つコミュニケーション技法
- 認知症について理解しよう
- もしもの時・活動時の緊急対応

- と き: 7月9日(火)・10日(水) 9:45~16:00
- と ころ: ウエルとばた 12階 H・I研修室
- 対 象: 40名 市内在住で2日間とも参加でき、ボランティア活動に興味のある方 (申込み多数の場合は抽選させていただきます。)
- 参 加 費: 無料
- 申込方法: 6/25(火)までにお電話か申込用紙ご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。

シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」②⑤

ボランティア大学校の11年を振り返って

●校長就任のきっかけ

わたしが北九州市社会福祉ボランティア大学校(以下「ボランティア大学校」という。)の校長に就任したのは、2007年11月のことでした。それは、前任者の亀津先生から、体調が思わしくなくこれ以上校長の職を続ける自信がないので交代してほしいと依頼を受けてのことでした。わたしは同年3月に北九州市立大学を退職し、フリーの立場でしたので、わたしでよければと、ボランティア大学校のことは何も知らないままに、引き受けさせていただきました。

ただ、わたしが北九州市立大学の産業社会研究所長在職中に手掛けていたのが、本市のボランティア団体、「市民福祉センター」(のちに市民センターに改称)、そして「まちづくり協議会」の関係者の聞き取り調査と、それに基づく論文等の執筆及び市内各地での「地域づくり」に関する講演活動でした。当時はほとんど意識していなかったのですが、その多くはボランティア大学校の講座の一コマであったのです。そしてこのことが、亀津先生を通してわたしをボランティア大学校の校長へとつなげてくれたのでした。

●時代と社会の状況変化に対応し、地域課題により密着した講座内容の進化と深化

わたしが校長に就任した当時は、「市民センター」を対象にした講座がいくらか目立っていましたが、次第に「ふれあいネットワーク活動」、「校(地)区の小地域福祉活動計画」、そしてボランティアコーディネーターの育成を対象とした研修へ、そして「地域支援ボランティア研修」へと焦点が移ってきました。また研修手法も、講義中心から「ワークショップ」等を取り入れた参加重視の研修へと移行してきました。

こうしたボランティア大学校の講座動向の中で注目されたのが、小地域福祉活動の重視と、それに伴う「ボランティアセンターから地域へ」の講座の提供から「センターと地域のキャッチボール」への転換でした。このことによって、講座の編成と内容が、地域のニーズに密着した充実したものになりました。その具体的表

北九州市社会福祉ボランティア大学校

前校長 **山崎 克明** さん



現の典型が、校(地)区で開催される「ふくしのまちづくり講座」です。これは2014年に、これまでの校(地)区社協個別研修と地域ボランティア研修を整理・再編成したもので、画期的といってよい展開であったと思っています。

その他の注目すべき講座としては、2008年度から今まで続く「傾聴ボランティア養成講座」とその「フォローアップ研修」があります。特に注目されるのは、講座の修了生たちが各期ごとに定例勉強会を開催し、また、各区ごとに組織をつくって社会福祉施設等での質の高いボランティア活動を続けていることです。

比較的新しい取り組みとしては、企業および社会福祉法人の「社会貢献活動セミナー」、そして、「災害ボランティア入門講座」「災害ボランティア・フォローアップ研修」があります。いずれもup-to-date(最新の)な「福祉の地域づくり」に欠かせないメニューであり、ボランティア大学校の存在意義を広く地域社会に知っていただくことにもなっているとと思っています。

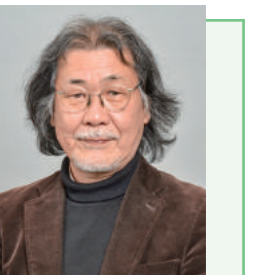
いま1つ重要なことは、地域の人達の中から、ボランティア大学校の講座を担当する多くの優れた「市民講師」が発掘され育てられてきたことです。このことは、地域づくりのリーダーが市民の中に着実に育っていることの反映であり、証左でもあるといえます。

●おわりに

わたしは、ボランティア大学校の校長として、「まちづくりゼミナール」を担当させていただいた以外、これとしてみるべき動きは何もできませんでした。にもかかわらず、「福祉の心」あふれる有能で優しい職員の皆様に囲まれ、また、学びのときを通して多く市民と交わる機会を与えられて、楽しく幸せな時を過ごさせていただきました。本当にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

新校長就任のごあいさつ

北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 **久塚 純一**



このたび、北九州市社会福祉ボランティア大学校の校長に就任いたしました久塚でございます。私事ですが、私は10年と少し北九州大学(現・北九州市立大学)で勤め、その後、27年間早稲田大学で勤めました。40年近い研究と実践は、ボランティアと深くかかわっていました。私のこれまでの研究と実践が、さまざまな研修事業を行っているボランティア大学校に、少しでもお役にたてればと思っています。前任の山崎校長と同様、引き続き皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。